

ね そ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 平成22年 6月号

全伝協弘前大会に参加しました！！

去る5月12～14日、『第32回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会及び研修会』が青森県弘前市にて開催されました。守る会からは事務局の和田と手塚が、行政からは教育委員会事務局長の宮丸氏と文化財係の松本氏が参加しました。以下にその概要と感想を掲載いたします。

5月12日（1日目）

○2地区の事例発表及び記念講演（長谷川成一教授）

来年度の開催地となる東近江市五個荘金堂伝建地区、本年度開催地に隣接する黒石市中町伝建地区の2地区が事例発表。五個荘は江戸時代後期から昭和前期にかけて近江商人が形成した本宅群と農家住宅が保存されています。保存会がNPO法人化されている点や農村集落（白川とは異なる部分が多いと思いますが）である点等、来年度の開催が楽しみとなる発表でした。中町伝建地区は浜街道に栄えた商家町で「こみせ」と呼ばれる通路が続く町並みが特色。また、長谷川教授の講演は弘前城と武家屋敷の変遷に関するお話で、いずれも明日以降の現地視察の基礎知識となり、とても参考になりました。

5月13日（2日目）

○現地フィールドワーク（弘前城・仲町伝建地区）

弘前公園は桜の名所で、花見の期間だけで250万人もの集客があります。また弘前城は来年築城400年を迎えるとのことで、観光PRも活発でした。公園に隣接する仲町は、築城後町割りされた武家屋敷の町並みで、サワラの垣根と門の景観保全に努めています。昭和53年選定というはやい時期からの伝建地区で、茅葺き屋根の武家屋敷を同地区へ移築し県の文化財として保存していました。観光活用より居住地として活用されている現状がわかりました。

○分科会意見交流会

住民参加者が3つの会に分散して交流しました。和田・手塚は第1分科会「保存会が行っている自主事業について」に参加しました。白川が世界遺産にいたるまでの概要と現在守る会が力を入れている事業について説明しました。他地区の活動と比較しても、伝建地区のパイオニアとして地に足をつけた継続的な活動ができていることが確認でき、自信と意欲をもつことができました。また、他地区の保存会が高齢化や継承者不足を課題にするなか、次代を担う若者が多く存在する白川は、本当にありがたい地区であることを感じました。それとともに、だからこそ景観を守る意識と行動を、若い世代を巻き込んで取り組んでいく大切さと責任を痛感しました。

○郷土芸能・情報交流会

国指定重要無形民俗文化財であるお山参詣と弘前こどもねぶたを披露。大人と子どもたちが一体となって芸能を継承していく姿に感動しました。その地に根ざした郷土芸能や祭礼の継承は、郷土を愛する心の醸成と地域住民の結束を深める大切な役割を果たしていることを強く感じました。情報交流会では分科会で十分話が出来なかった地区の方とも交流できました。同じ茅葺き屋根の集落である福島県大内宿では、白川と同様の3原則を盛り込んだ住民憲章を制定し、住民の話し合いの中から景観を守るための申し合わせや自主規制を行い、観光化による景観阻害をなくす取り組みをしていることがよく理解できました。荻町の取り組みにもぜひ活かしたいと感じました。また、3月に守る会の研修視察で訪れた海野宿の副会長さんともお会いでき、実りある交流会となりました。



【仲町のサワラの生垣の景観】



【第1分科会の意見交流の様子】



【情報交流会での弘前こどもねぶた】

5月14日(3日目)

○現地フィールドワーク(黒石市中町伝建地区)

黒石市中町は平成17年に重伝建の選定を受けました。国重文高橋家をはじめ、42棟の伝建物がこみせ通りに並んでいます。「こみせ」とは、通りに面した町家の庇のことで積雪時の貴重な歩行路となります。こみせ通りは個人の建物の一部でありながら、商用として、生活道路として、住民の情報交流や子どもたちの遊び場として利用される不思議な空間であり、今後の修復・修景によってとても魅力的な伝建地区となる可能性を感じました。B級グルメのつゆ焼きそばをはじめとする観光化の努力やおもてなしの姿に意気込みを感じました。



【こみせ通りの不思議な空間】

○国特別史跡山内丸山遺跡視察

青森市にある三内丸山遺跡は、平成12年に国の特別史跡に指定された縄文時代の遺跡です。復元されている大型縦穴式住居や大型掘立柱建物はただただ圧巻。復元されたそれぞれの住居からは、採取生活をする縄文人の生活が偲ばれるとともに、合掌家屋等の古民家の原点を見るような思いがしました。



【大型掘立柱建物と大型縦穴式住居】

※全伝協に参加する度に、白川の伝建地区としての知名度の高さ、他地域からのまなざし、今日に至るまでの先人や先輩方の偉大さを痛感して帰ってきます。私たちが誇る荻町集落の合掌文化と景観を住民が力を合わせてしっかり残していかなばと、決意をあらたにした3日間でした。最後になりましたが、貴重な研修の機会をいただきました守る会の皆様、関係諸氏の皆様に感謝申し上げ、研修報告といたします。[文責:手塚・和田]

守る会の活動指針 (国際フォーラム白川郷宣言より)

- (1) 隣人にやさしい心豊かで安全な共同生活のいっそうの充実
- (2) かけがえのない美しい文化遺産の保全と未来への確かな継承
- (3) 国内外の人々との文化交流を通して友好の輪の拡大

= 5月の活動報告 =

- 5月 2日 北信越町並みゼミ大聖寺大会(会長)
 - 5月 10日 5月定例会
 - 5月 11日 会報ねそ5月号配付、区会計監査
 - 5月 12日 全伝協総会・研修会(～14日 青森県弘前市 事務局2名)
 - 5月 18日 世界遺産15周年記念事業打ち合わせ会議(役員)
 - 5月 19日 休耕地復元田植え作業
 - 5月 27日 名古屋国際学園休耕地田植え体験(合掌保存財団)
- 【※7月の定例会は9日(金)を予定しています。】

= 区民の皆様へ =

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願いします。

世界遺産マスタープラン座談会開催！！

日時：6月28日(月) 19:00～

場所：荻町公民館2階

「世界遺産を守るにはどうしたらいいの?」「マスタープランの内容は??」世界遺産15周年をむかえるにあたり、専門家の方々と交えて、ざっくばらんに話し合いませんか。多くの皆様のご参加をお願いいたします(別紙チラシ参照)。主催・問合わせ先: 村教育委員会 文化財係(宮丸・松本・麻生)

合掌財団視察研修！！……6月26日(土)、南砺市下梨で開催される

「第1回茅葺きフォーラム」に参加します。交通費・フォーラム参加料とも全額無料です。

希望者は6月18日までに、各組守る会委員にお知らせください。 問合わせ先: 合掌財団下目

☆6月の協議事項(現状変更申請に関わって)☆

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| ****…自宅南面板壁塗装 | ****…自宅壁面塗替工事 | ****…車庫引戸の取替 |
| 白川村…大溝遊歩道改修 | ****…倉庫の除去・新築 | ****…雨戸取付 |